



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月14日

上場会社名 マーソ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5619 URL <https://www.mrso.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 西野 恒五郎  
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 吉田 弘（TEL）03-6435-6692  
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	682	—	97	—	97	—	67	—
2023年12月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	18.90	18.85
2023年12月期中間期	—	—

（注）当社は2023年12月期中間期において中間財務諸表を作成していないため、2023年12月期中間期の数値及び対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	2,284	1,991	87.2
2023年12月期	2,253	1,880	83.4

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 1,991百万円 2023年12月期 1,880百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,040	12.8	630	1.9	630	4.8	437	12.8	123.17

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	3,552,750株	2023年12月期	3,531,250株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	－株	2023年12月期	－株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	3,550,151株	2023年12月期中間期	－株

(注) 2023年12月期中間期において中間財務諸表を作成していないため、2023年12月期中間期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進む中で、外国人旅行客の増加に伴うインバウンド消費の増加等の影響もあり景気は緩やかな回復が続いております。一方で地政学リスクや欧米との金利格差拡大に伴う円安の進行、並びにその円安に起因する資源・原材料価格の高騰に伴う物価上昇が続いており、景気や個人消費への影響が懸念され景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社は、健康寿命の8年延伸を目指し『+8Y健康長寿社会の実現』をミッションに掲げ、人間ドック・健康診断(以下、「人間ドック・健診」)予約システムの提供等を通じて、受診者のインターネット予約と医療施設のDXを推進するヘルスケアDX実装カンパニーとして事業展開を行っております。

当社のセグメントは、ヘルステック事業の単一のみであります。サービス提供内容に応じて、「Health Care Platform(以下、「HCPF」という。)サービス」及び「DXサービス」、「大規模接種等サービス」に区分のうえ事業活動に取り組んでおります。

サービス提供区分上の売上構成は以下のとおりです。

サービス提供区分別売上	2024年12月期 当中間会計期間		2023年12月期 (参考)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
HCPFサービス売上	356,970	52.3	633,479	35.0
DXサービス売上	325,233	47.6	1,027,179	56.8
うちMRSOワクチン売上	160,976	23.6	671,513	37.1
大規模接種等サービス売上	640	0.1	148,754	8.2
売上合計	682,844	100.0	1,809,413	100.0

HCPFサービスにおいては、主力サービスである人間ドック・健診予約メディア「MRSO.jp」を通じて、医療施設の予約獲得に向けたマーケティング支援を行うと共に、受診者に対して人間ドック・健診の受診促進に向けた各種情報提供等の多様なサービス提供を行っております。当中間会計期間は、昨年に業務資本提携をした健診代行機関との提携や、継続的な営業活動による「MRSO.jp」掲載医療施設数増加や、医療施設のWEB予約枠拡大に努めました。また、受診者獲得のための積極的なWEBマーケティング活動を実施すると共に、引き続き業務提携先である生命保険会社等からの予約取扱高の増加もあり、「MRSO.jp」の予約取扱高は堅調に推移いたしました。

DXサービスにおいては、医療施設や市町村を中心とする行政、法人に対して、主に業務効率化に資するWEB予約システムの提供を行っております。医療施設向け人間ドック・健診WEB予約システムである「MRS」は、利用施設数の増加等により予約取扱高は堅調に推移しました。行政向けに提供している住民健診についても堅調に推移いたしました。一方で新型コロナウイルスワクチン接種等に関する各種WEB予約システムについては、国の接種方針の大幅な変更にともない、一部を除き自治体のワクチン接種体制が一旦終了したことから、システム利用が大幅に減少しております。

大規模接種等サービスにおいては、国や都道府県が設置した各大規模接種会場の終了後も一部の職域接種会場でワクチン接種WEB予約システムを提供しておりましたが、第1四半期末をもってサービス提供を終了いたしました。

この結果、当中間会計期間における当社の売上高は682,844千円、営業利益は97,288千円、経常利益は97,164千円、中間純利益は67,088千円となりました。なお、当社はヘルステック事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 財政状態の分析

##### (流動資産)

当中間会計期間末における流動資産は2,193,195千円となり、前事業年度末に比べ34,236千円増加しました。これは、現金及び預金が80,000千円増加したものの、売掛金が55,784千円減少したこと等によるものであります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産は91,280千円となり、前事業年度末に比べ2,949千円減少しました。これは、減価償却累計額が3,222千円増加したこと等によるものであります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債は289,133千円となり、前事業年度末に比べ76,507千円減少しました。これは、契約負債が104,910千円減少したものの、未払法人税等が17,248千円増加、その他に含まれる営業預り金が16,321千円増加したこと等によるものであります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債は3,370千円となり、前事業年度末に比べ3,996千円減少しました。これは、長期借入金が3,996千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産は1,991,972千円となり、前事業年度末に比べ111,790千円増加しました。これは、東京証券取引所グロース市場への上場に伴うオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ22,351千円増加したこと、中間純利益の計上により利益剰余金が67,088千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、2,007,227千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は52,017千円となりました。これは主に、税引前中間純利益の計上97,164千円、売上債権の減少額55,784千円、契約負債の減少額104,910千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は979千円となりました。これは、敷金及び差入保証金の回収による収入979千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は27,003千円となりました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への上場に伴うオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による株式の発行による収入44,702千円、上場関連費用の支出13,703千円、長期借入金の返済による支出3,996千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績見通しにつきましては、MRSOワクチンの売上について、新型コロナワクチン接種の定期接種が2024年10月を目途に開始する方針が厚生労働省より発表されておりますが、各自治体の接種体制等については今後審議会で議論して決定されるとのことから、現時点では2024年2月14日に公表しました「2023年12月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の業績予想に変更はありません。(同日公表の「2024年12月期 第2四半期決算説明資料」もご参照ください。)

また、当社は2024年6月13日に公表しました「MRSO ASIA設立のお知らせ」に記載のとおり、当該子会社設立後は連結決算に移行する見通しであります。2024年12月期の連結業績予想につきましても、これらの詳細が判明次第発表させていただきます。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,927,227	2,007,227
売掛金	194,772	138,988
仕掛品	-	14,176
その他	37,112	32,901
貸倒引当金	△153	△98
流動資産合計	2,158,958	2,193,195
固定資産		
有形固定資産	838	625
無形固定資産	11,390	8,167
投資その他の資産	82,001	82,487
固定資産合計	94,230	91,280
資産合計	2,253,188	2,284,475
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,620	17,742
1年内返済予定の長期借入金	7,992	7,992
未払法人税等	18,677	35,926
契約負債	180,591	75,680
賞与引当金	4,534	5,046
販売促進引当金	1,091	1,796
その他	132,133	144,949
流動負債合計	365,641	289,133
固定負債		
長期借入金	7,366	3,370
固定負債合計	7,366	3,370
負債合計	373,007	292,503
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	122,351
資本剰余金	307,190	329,541
利益剰余金	1,472,991	1,540,079
株主資本合計	1,880,181	1,991,972
純資産合計	1,880,181	1,991,972
負債純資産合計	2,253,188	2,284,475

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)	
当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	
売上高	682,844
売上原価	139,126
売上総利益	543,717
販売費及び一般管理費	446,428
営業利益	97,288
営業外収益	
受取利息	6
その他	50
営業外収益合計	56
営業外費用	
支払利息	42
為替差損	102
上場関連費用	35
営業外費用合計	180
経常利益	97,164
税引前中間純利益	97,164
法人税、住民税及び事業税	32,059
法人税等調整額	△1,982
法人税等合計	30,076
中間純利益	67,088

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前中間純利益	97,164
減価償却費	3,952
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△55
賞与引当金の増減額(△は減少)	511
販売促進引当金の増減額(△は減少)	704
受取利息	△6
支払利息	42
上場関連費用	35
売上債権の増減額(△は増加)	55,784
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,176
未収消費税等の増減額(△は増加)	12,722
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,878
契約負債の増減額(△は減少)	△104,910
その他	21,839
小計	70,731
利息及び配当金の受取額	6
利息の支払額	△42
法人税等の支払額	△18,678
営業活動によるキャッシュ・フロー	52,017
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
敷金及び差入保証金の回収による収入	979
投資活動によるキャッシュ・フロー	979
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△3,996
上場関連費用の支出	△13,703
株式の発行による収入	44,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,003
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	80,000
現金及び現金同等物の期首残高	1,927,227
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,007,227

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年1月23日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株発行21,500株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ22,351千円増加しております。

この結果、当中間会計期間末において資本金は122,351千円、資本剰余金は329,541千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、ヘルステック事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。